

# 館林北部第三工業団地に進出

## ステンレス細管の手島精管

注射針を中心とした精密ステンレス細管加工を手掛ける手島精管(館林市足次町469-2、手島三男社長 ☎0276-731173)は、館林北部第三工業団地に進出する。本社及び第2工場(館林市上早川田町)を集約し、生産の効率化を図るとともに、工業関連などの付加価値の高い細管部品の受注が増加傾向にあり、対応を強化する狙い。すでに建設工事に着手しており、4月末にも竣工。既存設備を移管し全面移転するほか、新たな設備投資も計画しており、開設済みの韓国の現地法人や米国のマーケティング会社を結ぶ、グローバル戦略拠点として機能させる方針だ。

(塚越吉洋)

## 既存2工場を集約・移転

## グローバル戦略拠点に

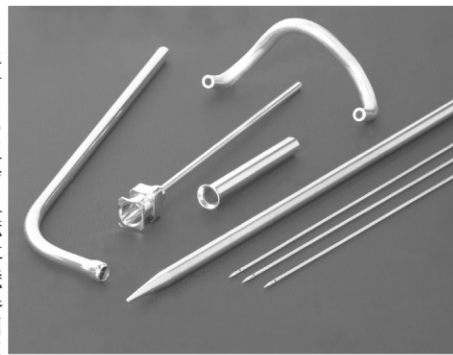
同社は72年に設立。長年、注射針を主体に生産しており、89年には韓国に現地法人「韓国手島」を開設しているほか、新たな販路を開拓している。09年には米国にマーケティング会社を設立す

るなど、グローバル展開を加速している。一方、国内生産拠点に目を向けると、ここ数年で多品種小ロット化が飛躍的に進展。現本社工場と第2工場は自動車で1分ほどの距離だが、扱う

製品が増えるにつれ、部材を行き来しなければならぬケースが増え、対応が急務に。

また、あらゆる製品の小型・微細化が進展する中、注射針で培ってきた極細ステンレス管に対するニーズが拡大。米国のマーケティング会社などを通じ、食品やバイオ関連などの新たな受注が舞い込むようになるとともに、技術的ハードルが高い製品を取り込んでいくには、従来の生産システムを進化させる必要が出てきており、新工場開設に踏み切った。

00平方メートルの工場を建設しており、生産強化はもろろん、蓄電システムを導入するなど、最新の工場としての整備をする一方、現本社および第



同社で生産するさまざまな細管部品

第2工場は売却する方針だ。

なお、新体制をアピールするため、4月25、26日の2日間、東京ビッグサイトで行われる医療機器関連の国際展示会「MEDTEC Japan」に出展。今後もこ

うした産業展に積極的に出展することで、新たな需要を開拓する。

手島由紀子専務の話  
注射針はいわば成熟したマーケットで、今後、企業を成長させていくためには、それ以外から、付加価値の高い製品を受注していく必要がある。幸い、動いてみると細管加工にはさまざまな需要があり、手ごたえを感じている。新工場を新たな発展の礎にしていければ。

## 特許・商標

士巨橋  
理鳥前  
弁羽 231-6288

5月の稼働を目指し建設を進めている



開設地は悩んだ末、雇用継続の観点から、現本社工場からそれほど離れていない館林北部第三工業団地内(館林市下早川田町)に約7500平方